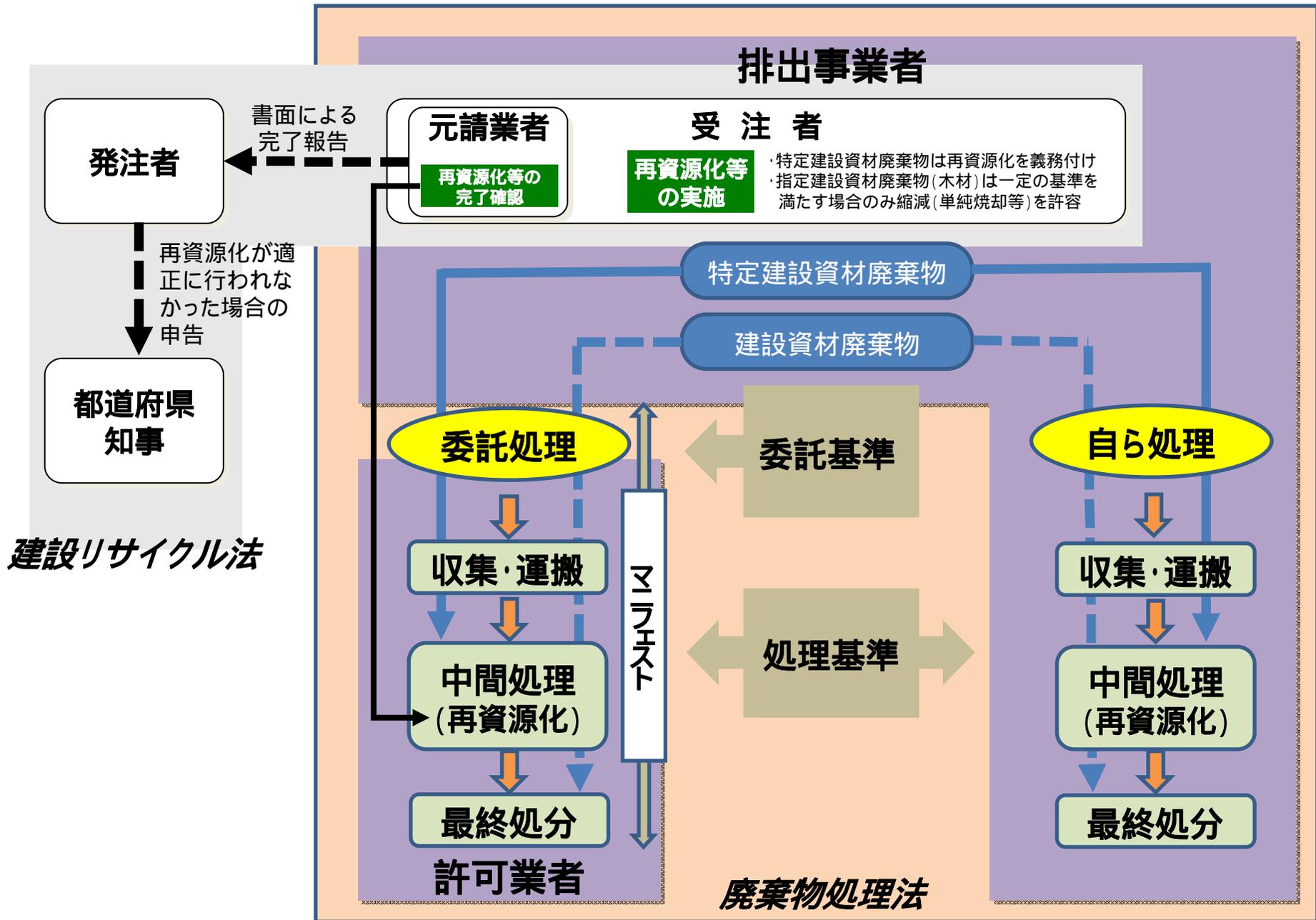


建設廃棄物の状況について

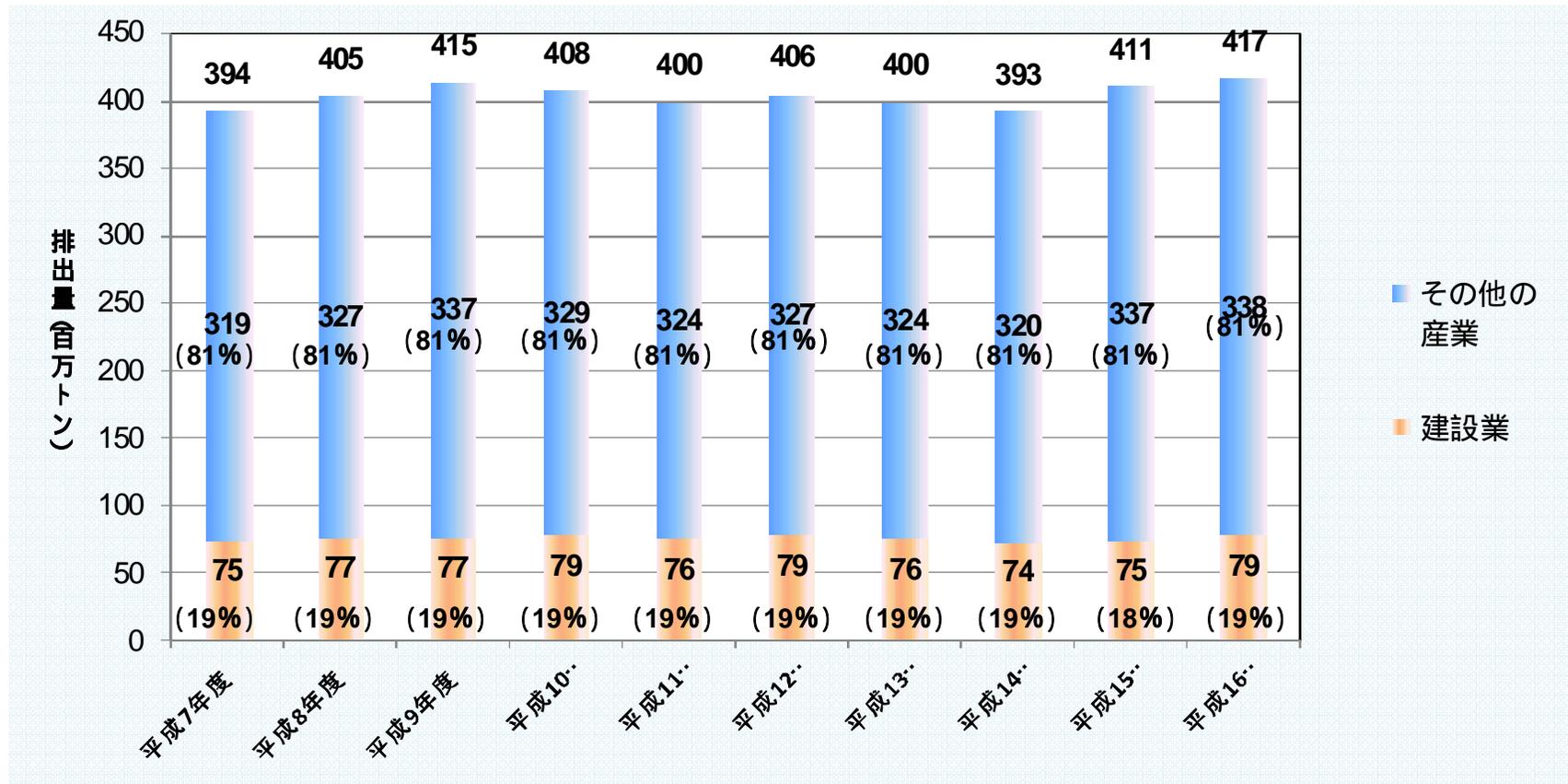
1. 建設リサイクル法と廃掃法の関係

建設廃棄物の再資源化における建設リサイクル法と廃掃法の関係



2. 産業廃棄物の排出等の状況

産業廃棄物排出量(建設業、その他の産業)の推移

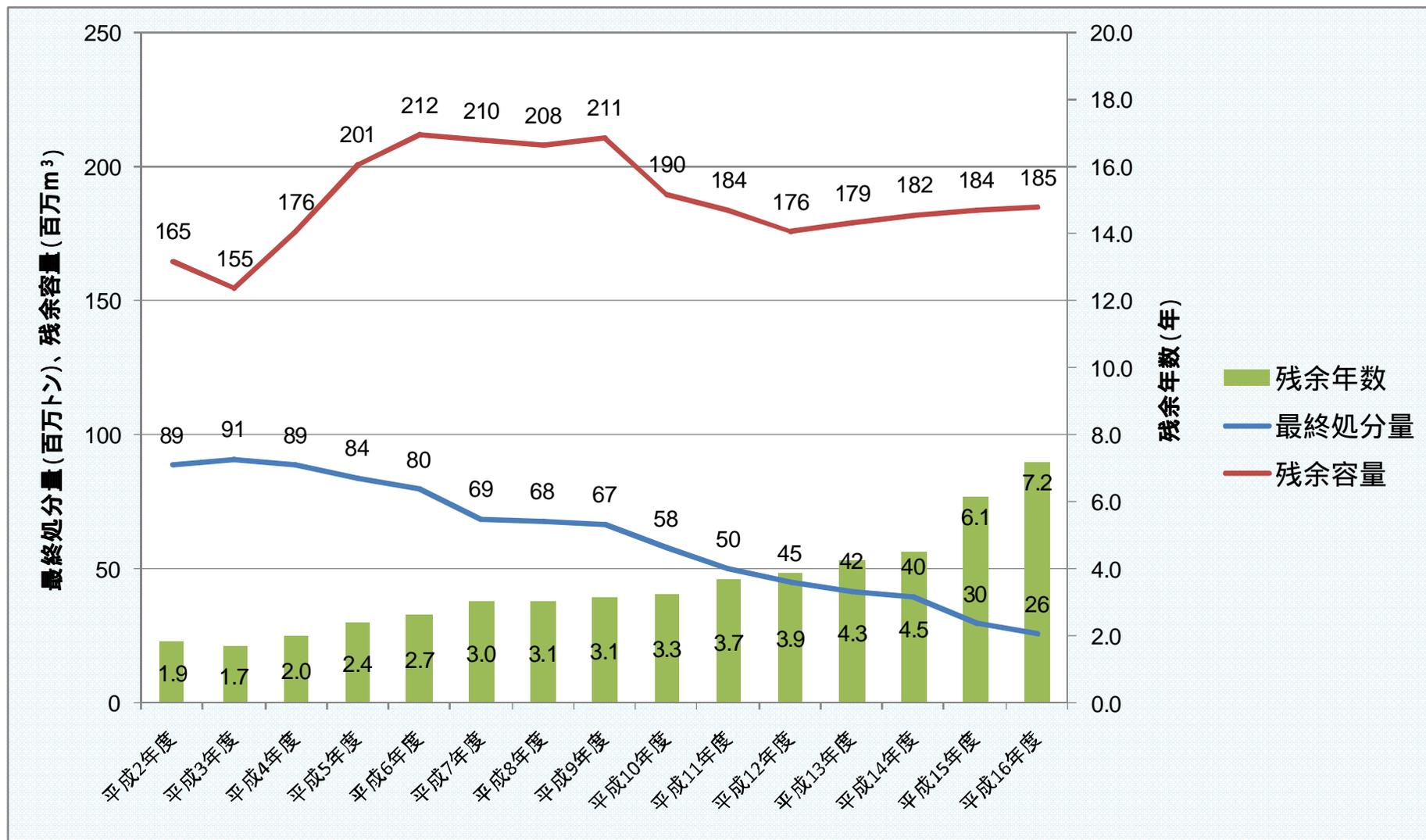


注)四捨五入の関係上、合計値とあわない場合がある。

環境省「産業廃棄物排出・処理状況調査」による

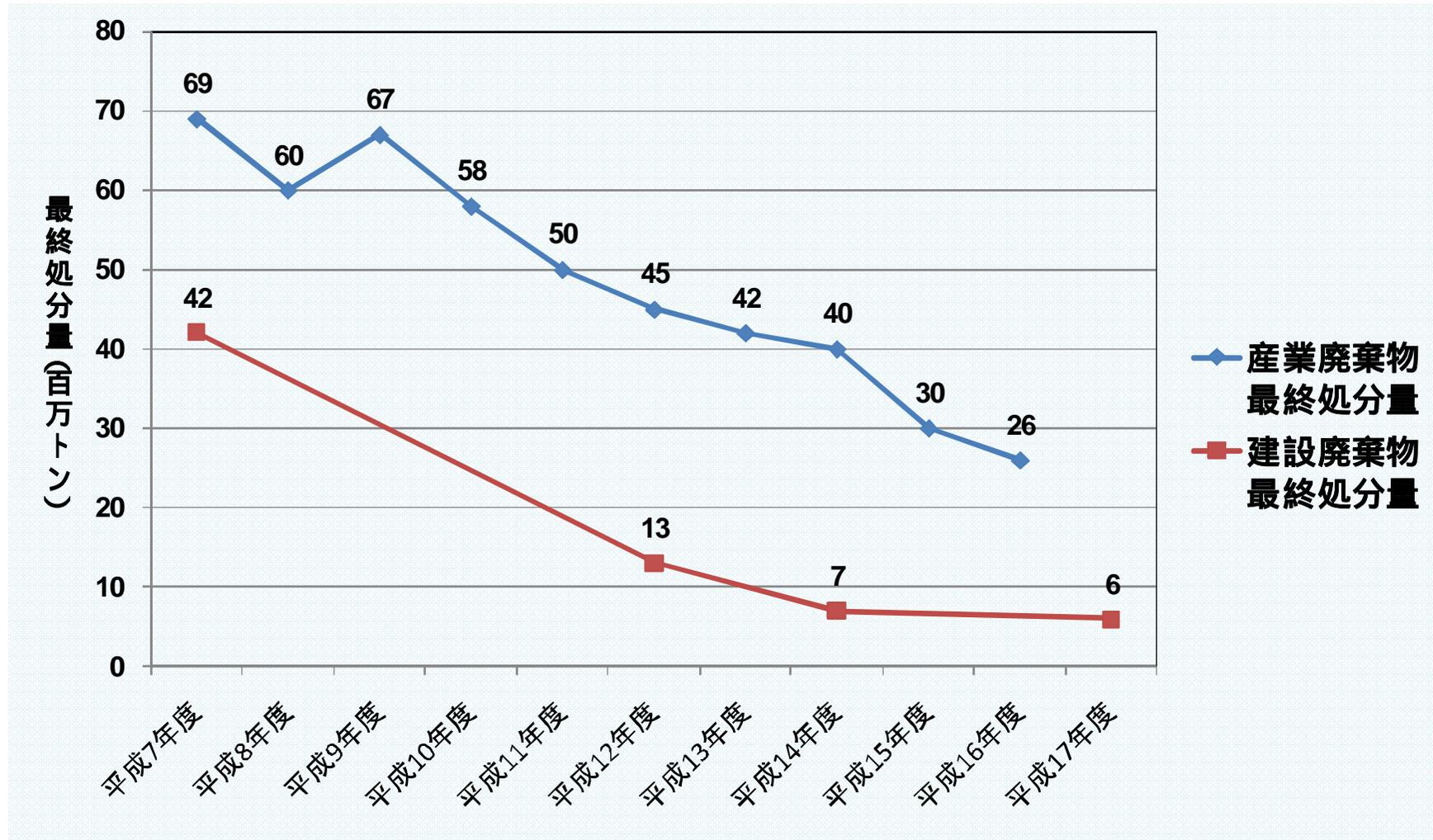
都道府県が行った直近の産業廃棄物排出実態調査をもととし、元請完成工事高等を活動量として年度補正による推計を行った。

最終処分量、残余容量、残余年数の推移



環境省「産業廃棄物の排出・処理状況調査」、「産業廃棄物行政組織等調査」による

産業廃棄物最終処分量、建設廃棄物最終処分量の推移

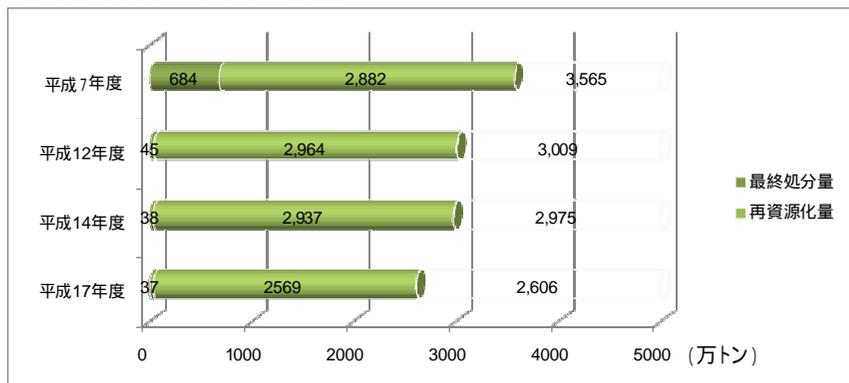


産業廃棄物最終処分量: 環境省「産業廃棄物の排出・処理状況調査」による
建設廃棄物最終処分量: 国土交通省「建設副産物実態調査」による

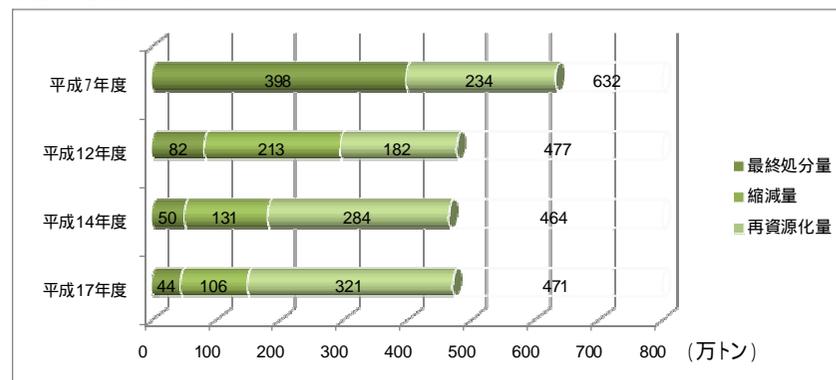
公共工事発注機関、民間公益企業、民間企業に対するアンケート調査から工事区分、発注区分、工事規模、地域等に区分して算出した原単位により推計を行っている。

品目別再資源化量、縮減量、最終処分量の推移

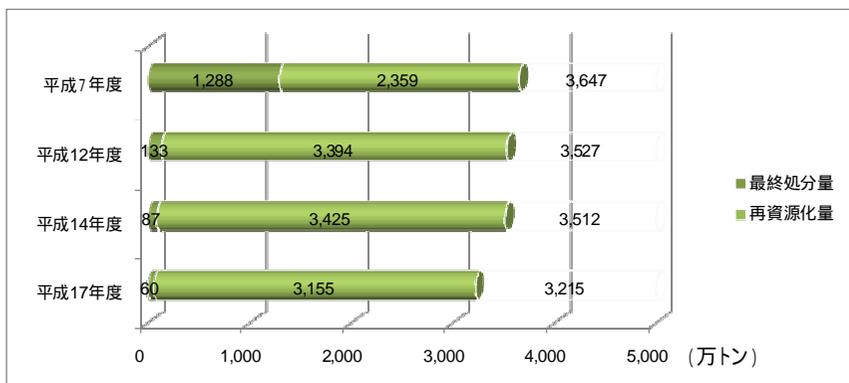
【アスファルト・コンクリート塊】



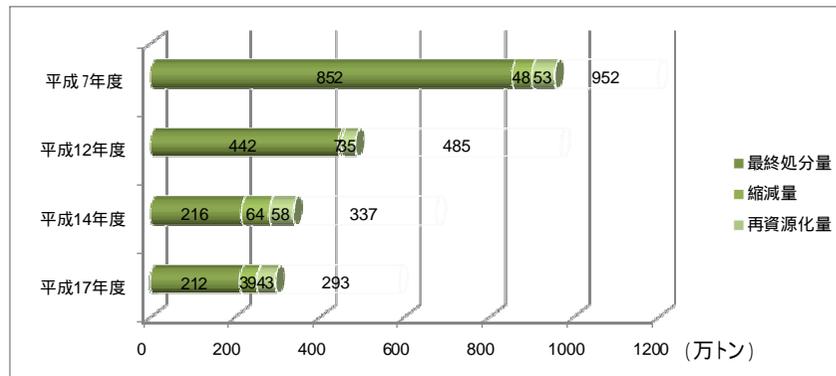
【建設発生木材】



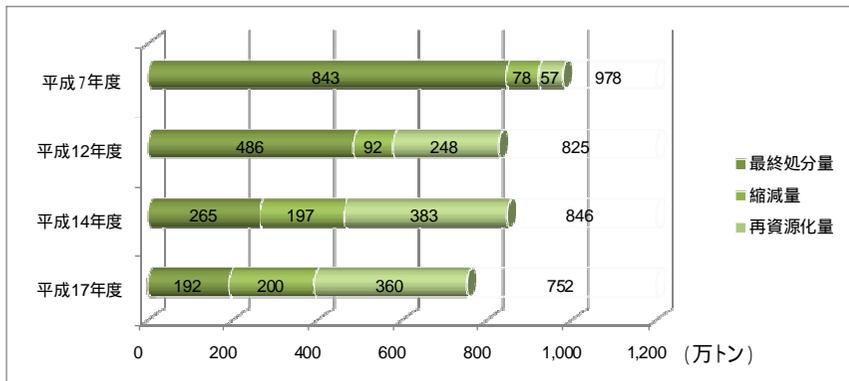
【コンクリート塊】



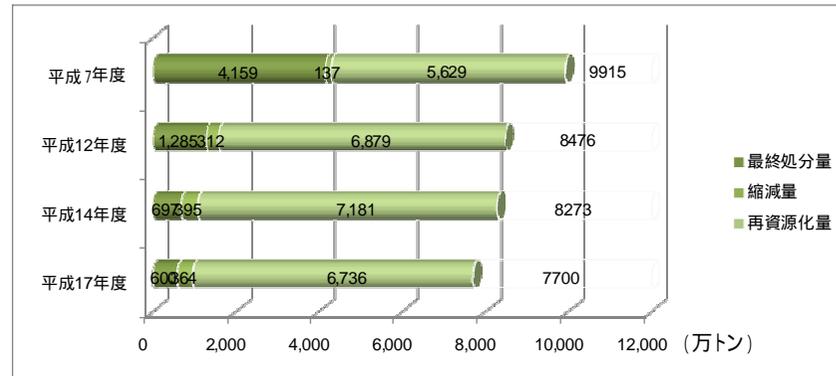
【建設混合廃棄物】



【建設汚泥】



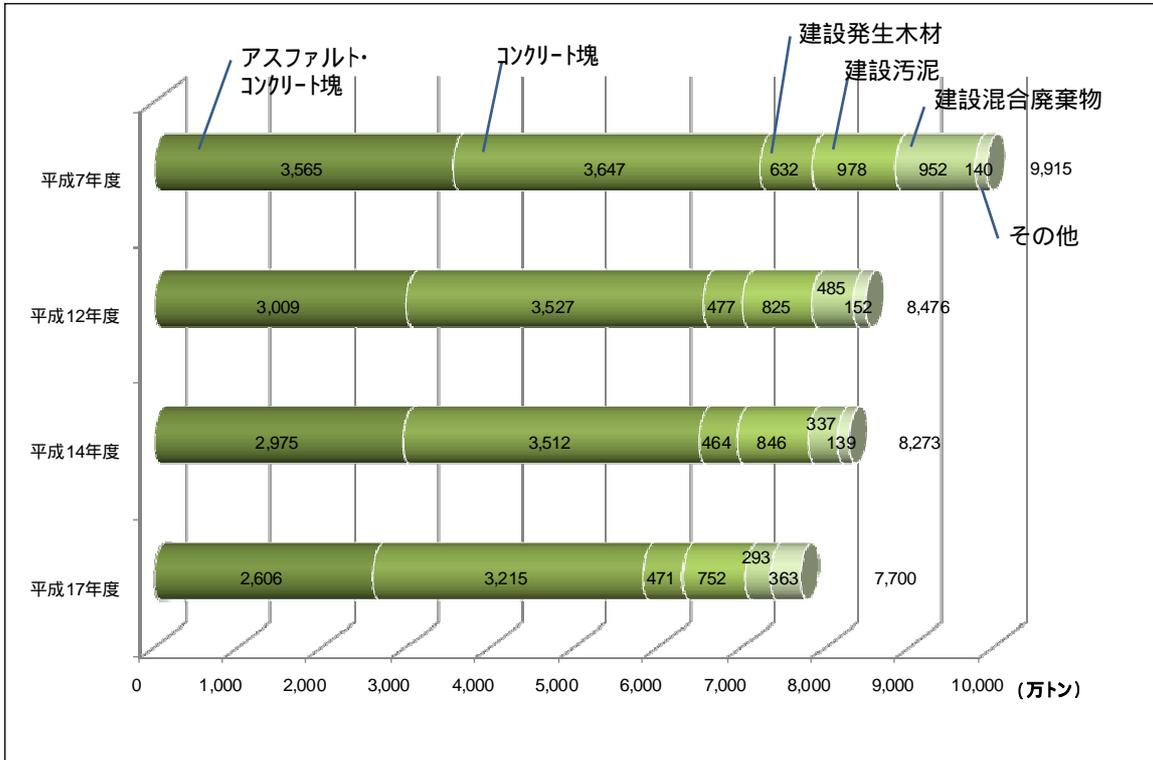
【全 体】



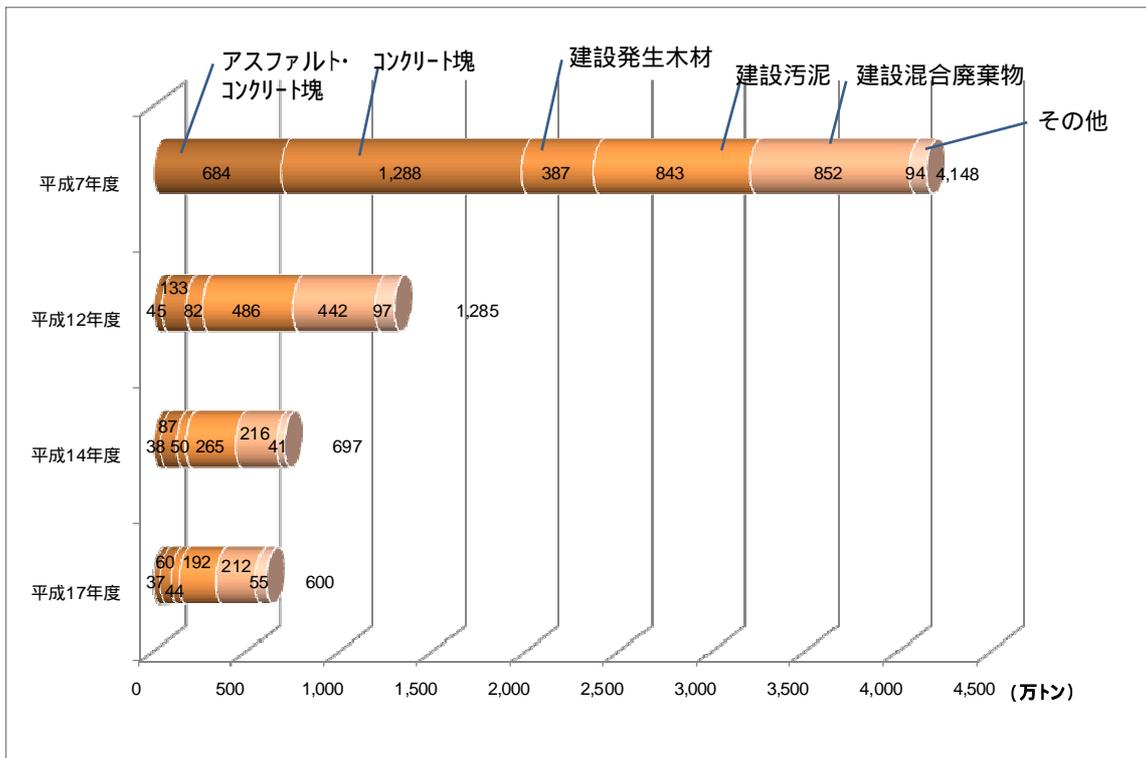
国土交通省「建設副産物実態調査」による。

品目別排出量、最終処分量の推移

品目別排出量



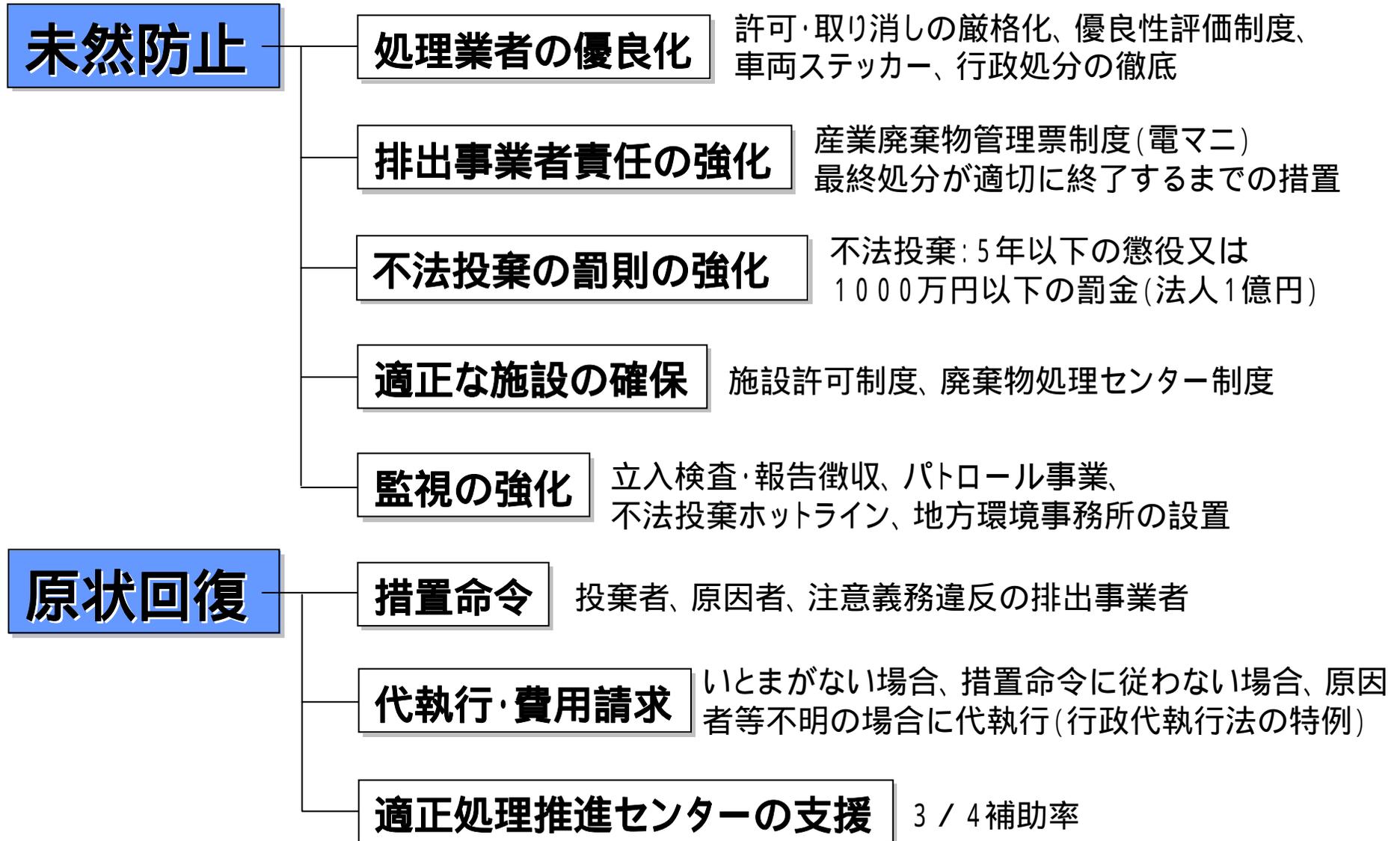
品目別最終処分量



国土交通省「建設副産物実態調査」による。

3 . 不法投棄の状況

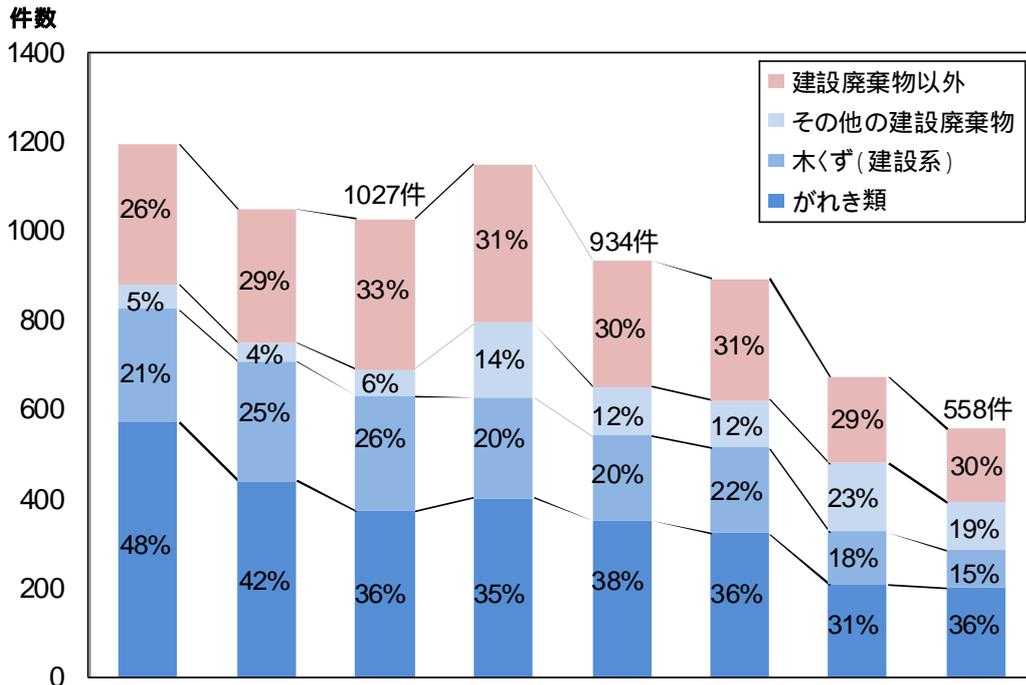
不法投棄対策の体系



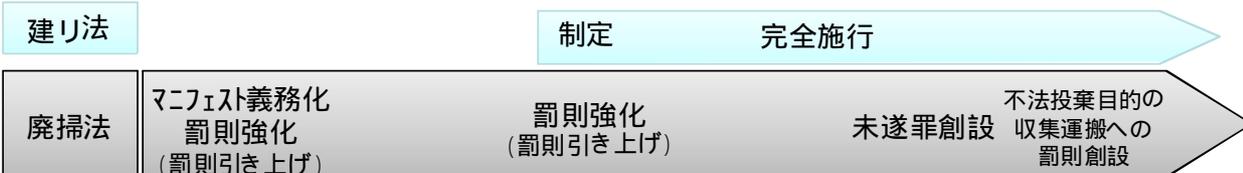
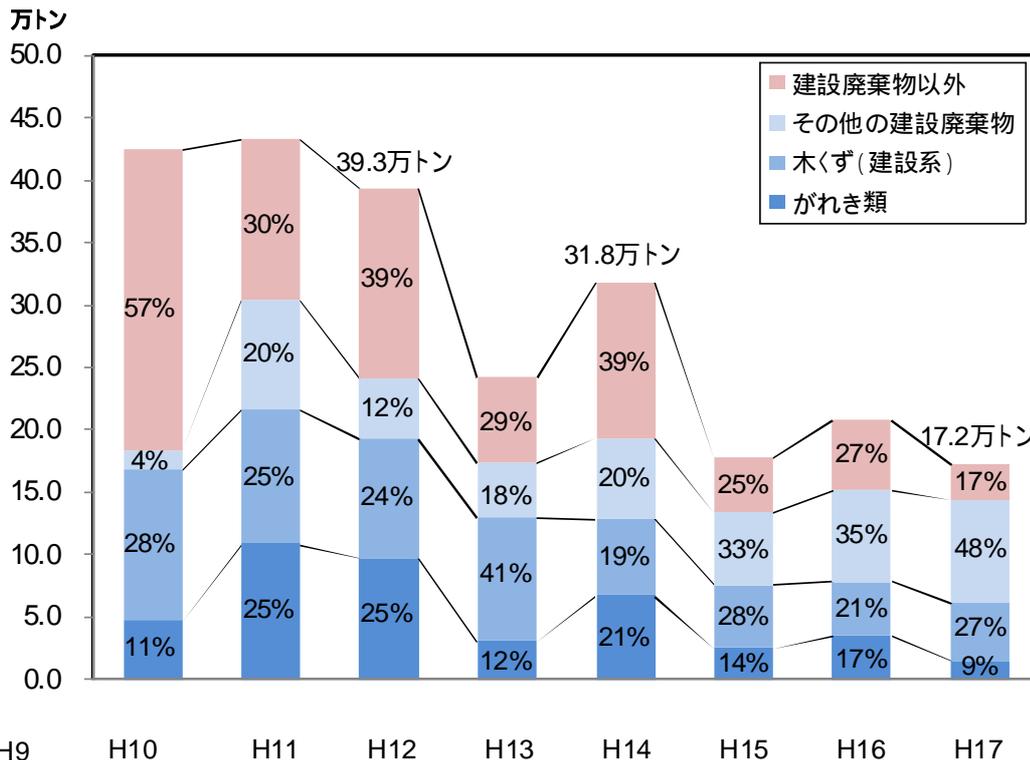
当面の目標「平成21年までに大規模事案(5000トン以上)をゼロにする」

不法投棄と建設廃棄物の関係

不法投棄件数



不法投棄量



注1 投棄件数及び投棄量は、都道府県及び政令市が把握した産業廃棄物の不法投棄のうち、1件当たりの投棄量が10t以上の事案(ただし特別管理産業廃棄物を含む事案はすべて)を集計対象とした。

注2 平成15年度岐阜市事案(56.7万t)及び平成16年度沼津市事案(20.4万t)を除く。

注3 四捨五入のため合計が100%とならないことがある。

平成17年度 実行者別建設廃棄物の不適正処理・不法投棄

